

消化器検診 Newsletter

No. 87

発行所: 日本消化器がん検診学会
 関東甲信越地方会
 〒112-0014 東京都文京区関口 1-14-7
 和田文栄ビル2階
 TEL / 03-3267-0678
 FAX / 03-3235-7647
 E-Mail: kantou@jsgcs.or.jp

[日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会機関紙]

超音波検診との関わり

山梨県厚生連健康管理センター 依田 芳起



● 今回Newsletterの原稿依頼があり、今までの日本消化器がん検診学会(特に超音波部会)との関わりについて述べさせていただきたいと思います。

研修医時代

昭和52年に杏林大学に入学し4年時に、父が胃癌に罹患し当時第三内科の青柳利雄教授にセカンドオピニオンとして診断を受け、手術で健康を取り戻しました。青柳先生は出身が山梨であったことに親近感を持ち、また温厚な先生であったことにも心引かれ消化器内科に進むきっかけになり、あっという間に27年が経ってしまいました。今では考えられないことですが第3内科1科だけで同期19名の新入局員があり、1年の研修後に2名が2年目の研修医として関東中央病院で研修できるとの紹介があり、志願しました。ここで外来患者・検診での超音波検査や機器の開発にも関与しておられた竹原靖明先生の超音波検査を見学する機会を得ました。そのころの超音波画像はざらざらの格子を通して腹部臓器を見ているような初期の装置が多い中、最新の機器が搬入されていました。しかし初心者の私はプローブを持って臍臓の位置の確認に難渋し、ゆらゆら揺らめく画面を見た後に、竹原先生に代わるとすぐに「なんだこれは?」という声とともに病変を描出されるという経験を何度かしたことを思い出します。

検診との関わり

研修医を終え山梨の第一内科に入局し、鈴木

宏教授のもと消化器関連の患者を受け持ち超音波機器を患者さんの横に持って歩き、入院後た易く聴診器代りできる検査ではあるものの重要な検査としてお腹を診て歩き、そのころ始ったPEIT(経皮経肝アルコール注入療法)治療にも携わってきました。平成3年には現職場の山梨県厚生連健康管理センターに出向となり癌検診、超音波検診に関与するようになりました。検診センターでは内視鏡検査が主で、超音波検査は専ら検査技師に任せ集計を発表することが多く、その日頃の業務の積み重ねにより、大変重要な結果が出せたことに感謝しています。山梨県はかつて日本住血吸虫症の発生地域であったこともあり、肝臓癌が東日本では突出して多い地域であったため超音波検診は昭和の50年代より住民検診に広く取り入れられていました。日本消化器がん検診学会(当時の日本消化器集団検診学会)に入会し、発表しているうちに竹原先生はじめ小野良樹先生、関東中央病院で研修医時代に外科でお世話になった小島正久先生、その他にも独協医科大学の高田悦雄先生、当時横浜市立市民病院の増田英明先生、さらに大波忠さんをはじめとする多くの熱心な臨床検査技師の皆様に関東甲信越の地方会でお会いし、その世話人会の一員として微力ながらお手伝いをさせていただいております。年に数回の講演会(超音波部会総会、スクリーニング講習会、関東甲信越地方会、日本がん検診学会総会、JDDW、初心者のための腹部超音波検査実技講習会、八海山セミナー、日光セミナー)を企画立案し、実施していく情熱は竹原先生や他の先生方はもちろんですが、臨床検査技師の方々の情熱は会運営に絶大なものと

感じています。その中で超音波検診走査法の基準案を関東甲信越地方会の世話人が中心となり対象臓器ごとの走査基準や各臓器の走査断面、捜査手順の基準、走査断面数、走査時間の基準などを策定したものをテキストとして、実技講習会に使用してきました。

腹部超音波検診におけるカテゴリー分類

関東甲信越における腹部超音波検診の走査基準は2009年より大阪成人病センターの田中幸子先生を委員長とするワーキンググループにより超音波検診基準案の実施基準が検討されています。関東甲信越における腹部超音波検診の走査基準がほぼ踏襲された内容であり、腹部超音波がん検診の質の向上を目指しています。また診断基準に関してはカテゴリー分類を使用し、肝・胆・膵・脾・腎その他の臓器を充実性、嚢胞性、壁異常、管の異常などにより基準を設定し、精度評価の向上を目指しています。これらの基準を広く普及させることにより、腹部超音波検診の検査方法の均質化やがんに対する判定基準の共通化を諮るとともに、腹部超音波検診のがん検診としての精度および有効性の評価を行うことを目指しています。今後案が開示され、修正が加えられ、正式な基準が作成されていくと思われます。実施されさらに問題点も出て

くるかもしれませんが、今後多くの施設での評価を待ちたいと思います。委員は、岡庭 信司(飯田市立病院)熊田 卓(大垣市民病院)小島 正久(関東中央病院)中島 美智子(埼玉医科大学)平井都始子(奈良県立医科大学)水間 美宏(神戸アドベンチスト病院)依田 芳起(山梨県厚生連健康管理センター)です。私は、日消集検誌 vol. 44,1, (12-20), 2006で腹部超音波検診におけるカテゴリー分類の検討を投稿し日本消化器がん検診学会学術奨励賞をいただいた関係でこのメンバーに加えていただけたと思っています。その当時のカテゴリーは検査技師の判断に任せたインプレッションだけで判定していましたが、現在のマンモグラフィでのカテゴリー分類別癌発見率と非常に近い値になったことで、精度管理に有用であると考えています。またオブザーバー 竹原 靖明(新横浜ソークリニック)超音波部会委員会 委員長 土亀 直俊(熊本県総合保健センター)に貴重なご意見をいただき作成中です。

講習会

特に印象深い講習会は第1回超音波スクリーニング研修講習会(日本消化器集団検診学会・日本総合健診学会合同)で、平成13年12月1日に東京電機大神田キャンパスで行われた日、この日は敬

目次

超音波検診との関わり 依田 芳起	1
リレー随筆「がんばった自分にご褒美」 永井 美枝子	4
「地方会の課題」 小野寺 礼子	5
施設紹介	6
第70回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会にご参加の御礼	7
第71回日本消化器がん検診学会関東甲信越学術集会	8
平成22年度 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会常任世話人・世話人会 議事録	9
平成22年度 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会総会 議事録	11
ザ・ベストイメージングコンテスト 結果報告	12
日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 第43回放射線部会学術集会	14
第33回 消化管造影技術研修会のご案内	15
超音波スクリーニング研修講演会2010横浜	17
日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 平成23年度超音波部会セミナーのご案内	18
日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会 『初心者のための腹部超音波検査実技講習会(第16回)』	19
日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 第13回超音波部会研修会(日光セミナー)のご案内	21
日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会 第6回新潟セミナー開催のご案内	22
87号掲示板	23
編集後記	24

宮 愛子内親王の誕生された日であったことです。同日に発会した講演は超音波スクリーニングにおけるピットホール「肝臓」を森英明先生(杏林大学第三内科)「胆道」、竹内和男先生(虎ノ門病院消化器科)、「膵臓」金田智先生(東京都済生会中央病院)、「腎臓・膀胱」澤村良勝先生(東邦大学医学部大橋病院)「基礎と臨床の接点」竹原靖明先生(新横浜病院横浜健診センター)でした。あれから10年の回を重ね、毎年多くの検査技師、先生方が聴講され、ますます大きな会に発展しております。多くの先生方に支えられ、検査技術の向上に取り組んでいくことは今後も重要なことであると思えますが、精度の向上、癌検診の有用性を実証していくには、発見癌の確認、病期、予後の追跡などを確立していかなければならないと思っています。県単位での癌登録も始まり、集計しやすくなっていくようには思いますが、やはり自施設での追跡は責任を持って行い結果を出していくことが大切であると思っています。

何がきっかけで、このように学会と深くかかわるようになったのか今でも不思議ですが、自分のできる範囲で頑張っていきたいと思っています。

筆頭一し



消化管の診断に

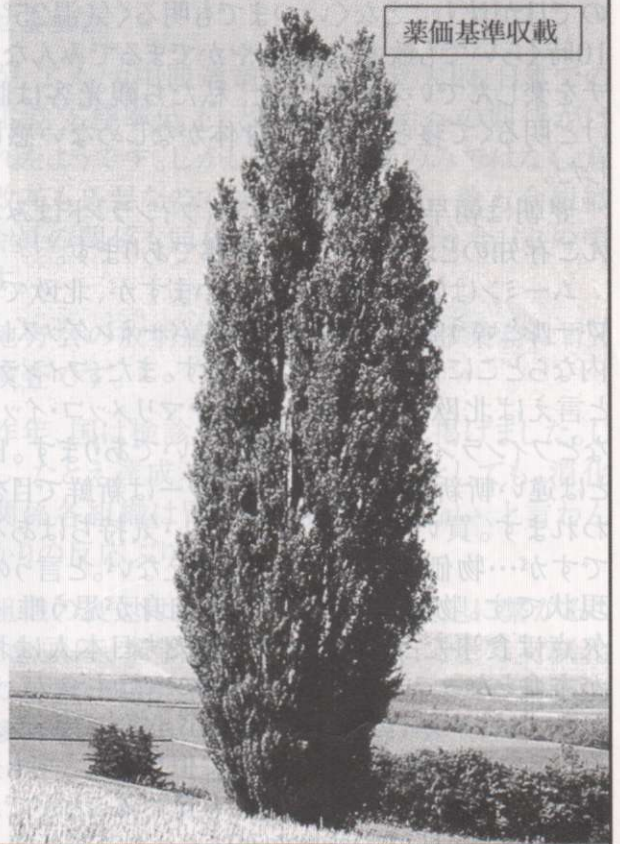
処方せん医薬品
X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

- | | |
|-----------|-------------|
| ◇パウダー製剤 | ◇ゾル製剤 |
| ネオバルギンEHD | バムスターS200 |
| ネオバルギンUHD | バリトップ120 |
| ネオバルギンHD | バリトップゾル150 |
| バリトップHD | バリブライトゾル180 |
| バリブライトP | |
| バリブライトCL | |
| バリコンクMX | |

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載



発売元

Kaigen 株式会社 **カイゲン**

大阪市中央区道修町2-5-14 [資料請求先 新薬本部]
<http://www.kaigen.co.jp>

リレー随筆

「がんばった自分にご褒美」

済生会横浜市東部病院
永井 美枝子

超音波部会にお世話になってかれこれ3年が経過します。

私と超音波の出会いはまだ4年と短く…技師経験は長いのですが30歳を過ぎてからの挑戦でした。それまでは検体検査一筋でやっていたものから、機械の原理・使い方なんて何も分からない状態、勉強はなかなか厳しいものでした。

しかし私たち検査技師は毎日が勉強で、つねに新しい情報を取り入れ仕事に生かすことがとても大事と感じている今日この頃です。

そこで今年は日頃の努力?自分へのご褒美で7月早々と夏休みを取り日本脱出し北欧へ旅たちました。

フィンランドまでは飛行機でなんと9時間で到着。ヨーロッパは13時間かかると思っていたのですがあまりの近さにビックリしてしまいました。到着後は夕方とあってホテルへ直行しましたが、この時期は白夜なので日が沈むことなくいつまでも明るく気温25°、夜10時くらいでも飲食店は賑やかでまるでみんなランチを楽しんでいるようでした。私たち観光客は眠いけど明るくて寝られない…身体がなじめない感じでした。

翌朝は朝早くから市内観光。フィンランドはみなさんご存知のとおりムーミンの故郷であります。

ムーミンは妖精ともいわれていますが、北欧ではトロールという守り神だそうです。ムーミングッズは市内ならどこに行っても手に入ります。また、フィンランドと言えば北欧ならではの家具やマリメッコ・イッタラなどフィンランドブランドが勢ぞろいがあります。日本とは違い斬新的なデザインやカラーは新鮮で目を奪われます。買い物をとくさんしたい気持ちはあるのですが…物価が高く簡単には買えない。と言うのが現状です。物価もそうですが私自身が思う唯一の欠点は食事だったのです…。私たち日本人はお米が主食となっていますが、フィンランドは主食がパン、おかずはトナカイの肉や魚介類がメインディッシュだそうです。トナカイは鹿肉の味に似ていてとてもクセがあるそうです。私はどうしても食べることができないので味見はしていませんが…。

さておき、3日目はノルウエーへ移動。飛行機で2時間、到着後に市内観光へ。フィンランドより気温は低く約20°で日本の10月くらいです。夏だけドコート

を持参していきました。

ノルウエーといえば!!サーモンですね。さすがに絶品でした。マリネをはじめ焼きサーモンなどなど現地ならではの食べ方を堪能しました。

さてさて観光といえばノルウエーの醍醐味はフィヨルドです。首都オスロから電車にのって6時間移動、ミルダール駅からフロム山岳鉄道に乗ってフロム駅に向かいます。ほぼ一日の大移動となります。

山岳鉄道とあって山間を抜けていくわけですが、気温は15°位まで下がり山には雪がありました。山頂付近ではスキーを楽しむ観光客が多くみられましたが…夏ですよ!!!

しかし、山間とあって天気はすぐに変化し晴れたり雨だったり…きまぐれです。

宿泊はベルゲンという世界遺産の街です。海岸沿いにある街なので市場がたくさんあり、とても賑やかな街並みです。その市場のなかで働く日本人を見つけました。よくよく話を聞くと音楽大学に通っていてホルン奏者として演奏会などを行っているそうです。名前は○○その子ちゃんです。私がノルウエーに来る前に日本のテレビで特集をしたとかで日本人観光客には有名な存在だそうです。ご覧になりたい方はYouTubeで!!ノルウエーのさらにビックリすることはフィンランド同様、物価がとても高いということです。簡単な例をあげると某Muckのビックマックは日本では500円前後ですがノルウエーでは1600円と高級な食事なわけです。さすがに躊躇してしまい買うことができませんでした…。

なんやかんやでそろそろ帰る日が。帰りはベルゲン→ストックホルム→ヘルシンキ→成田とちょっと長旅。ヘルシンキからは約10時間で帰国の途へつきました。

久々に海外旅行は良いですね。日頃のうっぶんをはねのけ“素”になる時間は必要と常に思います。仕事も大事!!ですが休むことも大事です。

仕事にいっぱいになりすぎるとミスをしたり、注意を怠ったりする原因にもなる可能性があります。特に超音波検査は対ヒトですので常に緊張感のなかで仕事をすることも多いのが現状と思われます。

ですから常に心に余裕があるといいですが…私自身へのことばです。

みなさんもぜひ気分転換をしてみてください。

北欧はとても自然が豊かで人もとても親切です。ぜひ足を伸ばして見てください。

ただし夏は7月のみです。8月以降はオーロラが観察できる冬にすぐなってしまうからです。要注意ですよ。

「地方会の課題」

放射線部会
小野寺 礼子

日本消化器がん検診学会(以下本学会)の新法人移行に伴い、日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会(以下地方会)は2~3年以内に関東甲信越支部となり、名実ともに本学会の傘下に仲間入りとなるようです。本学会12,000円、地方会4,000円の合計16,000円の年会費を納めている会員としては、医師を除く職種の会員としての位置付けと年会費、事業活動資金等々気になりつつも、大いに期待しているところです。

その一つとして、放射線技師が全て同じ条件下で平等に本学会の会員となれることです。今の本学会・支部・地方会それぞれの会員が全て本学会会員としてまとまりますので、会費が一本化され、情報も共有できます。

また、本学会は一般社団法人化に向けて定款作成中ということですので、放射線技師も法人格をもった学術団体の会員として、かつ各支部会員としての活動を行うこととなります。会員数が4,000名にもなる同じ目標に向かう大所帯の団体として、活発な事業の展開が出来るそうです。

以上のように本学会並びに地方会の支部化後へ大きな期待を抱きながら、地方会の現状と今後に少し目を向けてみました。

2010年4月より地方会の事務局が本学会と同室に移転しました。事務局員の方も交代し、環境も変わりました。

同時に、支部化へ向けて会計処理も連結決算がスタートしました。人は環境が変わると気持ちも新たに、何かに挑みたくなるものです。

前号で増田先生が監事の立場より地方会の多々ある問題点を指摘されていました。

会員の多くの方が読まれたと思いますが、改善して欲しい、早急に改善するべきと思われたのではありませんか。中には自分がどうにかしよう、何らかの方法で関わろう、環境が変わったからどうにか変わるだろう、と思われたかもしれません。

本学会の支部になるまでの地方会組織としての検討課題は数多くあるように思いますが、私も今更ながら、疑問に感じている点を世話人並びに会員と

して思うがままに述べてみたいと思います。

地方会は年会費4,000円の会員の会費で運営されています。従って会員は会費の用途を知る権利があり、地方会は組織として何らかの方法で会員に収支を報告する義務があると思います。世話人・常任世話人には収支決算並びに監査報告がされますが、一般会員にはそれがなされていないのが現状です。

会員への地方会からの情報は年3回のニュースレターのみで、今時ホームページを開設していない連絡・情報網にも問題があるように思います。超音波部会・放射線部会のホームページは開けても地方会のホームページがありません。本学会→地方会→各部会とクリックすることにより、会員が随時情報を得て組織が見えなければ時代遅れです。

以上は気になる問題点の一部ですが、地方会として今やるべきこと、支部化へ向けてやるべきこと、1都9県で千数百名の会員をかかえる組織として急いでやるべきことがあるように思います。

2年前のアメリカでの「チェンジ」 昨年の日本の「政権交代」でそれぞれの国民は大きな期待を寄せました。

が、アメリカ中間選挙での民主党大敗、日本での民主党支持率低下、と国民の政治への期待がはずれたようです。しかし国民も期待のみではなく、意識改革も必要なのでは?と思いながら、地方会組織と会員の関係も同様ではないかと思う今日この頃です。

地方会の放射線技師が関わる検診業務は胃X線検査です。

昨年、国は検診受診率50%目標を掲げました。しかし、たとえ達成不可能な目標値だとしても、消化管関係各組織は胃X線検査は関係ない、と言わんばかりの反応ぶりです。

組織の衰退は自分たちの職業の衰退に繋がることを念頭に、本学会並びに地方会、そして支部化後に大きな期待を持ちつつ、会員1人1人が積極的に参加をして関わっていきましょう。

施設紹介

「小平記念 東京日立病院 総合健診センター」

<はじめに>

当病院は1960年に創立50周年記念事業として当社創立者小平浪平翁の自宅跡地である文京区湯島に「最新の医療をあたたかい心で」を理念として掲げ、従業員やその家族、OBが安心して頼る病院として設立され、今年で株式会社日立製作所100周年とともに50周年を迎えました。

総合健診センターは2006年に御茶ノ水の本社ビルをはじめ4箇所にあった本社健康管理センターを集約し日立製作所グループ従業員及び家族、地域の方々を含めた健康管理を行う事を目的として病院に併設されました。また最新の高度医療機器を導入し健診のオプション項目の充実を図り、CT肺がん検診、脳ドック、乳がん検診、子宮がん検診を実施することが可能となりました。

今後も、健診内容の充実を図り精度の高い検査を行うとともに従業員及び地域の方々の健康管理のサポートをお手伝いする施設として努めます。

<業務内容>

病 院：病床数126床

外 来：内科 外科 整形外科 産婦人科 小児科 眼科 皮膚科
耳鼻咽喉科 心療内科 泌尿科 歯科

総合健診センター

日帰り人間ドック・1泊2日・2泊3日宿泊ドック

企業健診：定期健診・渡航健診

区民検診：健康診査、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、
乳がん検診等

<導入装置>

日立メディコ社製	デジタルX線透視装置 DR 6000	2台
日立メディコ社製	デジタルX線透視装置 EXAVIST	1台
日立メディコ社製	デジタル式乳房X線撮影装置 Selenia	2台
日立メディコ社製	オープン MRI APERUTO (0.4T)	1台
日立メディコ社製	高磁場 MRI Echeion (1.5T)	1台
日立メディコ社製	X線CT Scenaria (64列)	
日立メディコ社製	超音波装置 EUB - 6500	3台
	EUB - 8500	1台
胸部・一般撮影	FUJI VELOCITY CRシステム	
	KONICA MINOLTA REGIUS	

(病院の乳房撮影以外はモニター診断)



第70回日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会学術集会にご参加の御礼

(社)日本健康倶楽部千葉支部 山岸忠好

平成22年9月4日(土)に千葉市駅前の京葉銀行文化プラザにて開催しました本学術集会には多数の会員にご参加いただき誠に有難うございました。開催一年前にはミニマムで300名マキシマムで400名の会員にご出席いただけたら有難いことと想过いりましたが、何と524名の皆さんに、ご出席いただきました。

その内訳数は放射線技師371名、臨床検査技師53名、医師45名、保健師11名、看護師3名、その他2名、メーカー及び企業39名です。



一重に、消化器がん検診にご熱心な会員と皆さんの賜物と感謝もうしあげます。

8月の最後の週、バタバタしておりました折に市川平三郎先生にネットから引用しました昔の先生の御対談記事をプリント、パウチしまして初代の代表世話人の先生のご芳名を汚さないよう会長を務めたいと存じますので見守って下さいと失礼ながら一筆差し上げました。

4日(土)懇親会を終了し22:00に帰宅しましたら市川先生からお葉書の頂戴があり【志を同じくする皆様にくれぐれもよろしく】と言うお言葉を戴いております。当日、私の不肖の挨拶に間に合いませんでしたのでここに、ご報告もうし上げました。

ご参加いただきました会員の皆様には多々の不行き届きの点があったかと存じますがお許し下さい。平成23年の第71回本学会の開催は我が郷里の長野県立須坂病院の赤松泰次先生が会長です。盛会裏の開催を祈念もうし上げて本稿を終わります。

Good Communication!

Opus One!

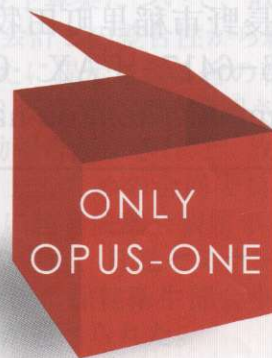
私たちの経営ビジョンは、クライアントとその先のユーザーの視点に立ったソリューションカンパニーとして、どれだけきめ細やかで効率の良い広告の提案ができるかと考えています。

人のぬくもりある提案は時代を超えて人々を惹きつけます。

いつの時代も情報の原点は、「会話」。それは「人と人」。

私達はこの人と人の「グッドコミュニケーション」をキーワードに、心の豊かな人材と企業を育ててまいります。

グッドコミュニケーションで人の和が広がり、明るい社会創りに貢献してまいります。



FUTURE BOX
このフューチャーボックスは、希望ある未来の引き出しの象徴として、当社をイメージしました。

主な事業内容

- 広告・デザイン ▶ 企画・提案
- プロモーション戦略 ▶ リサーチ・プランニング
- 新聞広告 ▶ 企画・提案
- Web広告 ▶ デザイン・企画・提案
- イベント ▶ ブース設営 / 会場設営
学会・セミナー運営
- DTP ▶ 冊子、資料、会社案内等制作
印刷業務

広告代理店

株式会社 **オーパスワンコミュニケーションズ**
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-4-7
TEL:03-3512-3560 FAX:03-3512-3826
e-mail:opus1@opus1.co.jp URL:http://www.opus1.co.jp/



第71回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会

会 長：赤松泰次(長野県立病院機構須坂病院内視鏡センター)

日 程：平成23年9月10日(土)

時 間：9:00より17:05まで

会 場：JA長野県ビル

長野市南長野北石堂町1177-3(長野駅より徒歩10分)

TEL: 026-236-3600 FAX: 026-236-3525

参加費：3,000円

第71回日本消化器がん検診学会関東甲信越学術集会を上記の通り開催致します。学会のテーマは「消化器がん検診を見直す」とし、主題は「胃集団検診の近未来像」と「大腸癌検診の現状と問題点」の2つを予定しています。「胃集団検診の近未来像」では、従来の逐年X線検診を高濃度低粘調バリウムやDR(digital radiography)などの技術革新によって精度を高めて行くべきか、あるいは血清診断(ペプシノーゲンとヘリコバクター・ピロリ)により被検者の胃癌リスクを分類して検診間隔を決定したり、内視鏡による検診を導入するといった新しい検診方法を模索していくべきか、を議論したいと考えています。「大腸癌検診の現状と問題点」では免疫学的便潜血反応による検診が普及しているものの、精検受診者が60-70%に留まっていることや、大腸の精検施行が困難な被検者(超高齢者や重篤な合併症を有する者)にまで便潜血検査が行われている現状など、いくつかの問題点をさまざまな立場の方々に議論して頂きます。また基調講演、会長講演のほか、一般演題については広く募集する予定です。

9月の信州は気候もよく、美しい自然と多くの郷土品を用意して会員の皆様をお迎えできると思います。奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

事務局・連絡先

長野県健康づくり事業団 両角博幸、玉木孝男

〒381-2298 長野市稲里町田牧206-1

TEL 026-286-6417 FAX 026-286-6412

E-mail: takao.tamaki@kenkou-nagano.or.jp

平成22年度 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会 常任世話人・世話人会 議事録

- 日 時:** 平成22年9月4日(土) 午後12時00分～13時00分
- 場 所:** 京葉銀行文化プラザ かえでの間7階
JR千葉駅前(千葉市中央区富士見1-3-2 TEL:043-202-0800)
- 出席者数:** 出席45名、委任状による出席29名、合計74名
(会則第16条により、現在数105名の過半数以上)
- 議 題:**
1. 平成21年度決算報告及び活動報告
 2. 平成22年度予算案及び事業計画案
 3. 第71回地方会(平成23年度)の開催準備報告
 4. 第72回地方会(平成24年度)の開催について
 5. 企画調整委員会活動強化に関する提案
 6. 役員・委員会の任期について
 7. その他

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会林學代表世話人の挨拶の後、会則第16条による定足数が満たされていることを確認し、林學代表世話人が議長となり、開会を宣した。

続いて、議事録署名人に大波忠、宮田和則両常任世話人を指名のうえ、議案の審議に入った。

1. 平成 21 年度決算報告及び活動報告

林議長より、平成 21 年度決算報告がなされ、金額と勘定科目の割り振りについて審議がなされたが大きな問題はなく、承認された。

次に、各部会より平成 21 年度活動報告がなされた。最初に、放射線部会木村代表より、世話人会、組織運営委員会、学術運営委員会、表彰委員会、広報活動委員会について活動報告がなされ、いずれも盛況のうちに終了した事が報告された。続いて、超音波部会假屋事務局長より、総会、超音波スクリーニング実技講習会、研修会、セミナーの活動報告がなされ、いずれも盛況のうちに終了した事が報告された。最後に、保健衛生部会小川代表より、第 69 回地方会の活動報告がなされた。

2. 平成 22 年度予算案及び事業計画案

藤田監事より、平成 21 年度決算報告について、特に大きな問題はなく監査が終わっている旨の監査報告がなされた。

次に増田監事より、平成 22 年度予算案について、収支予算書の管理費支出と事業費支出についての指摘と、新しい連結会計との整合性から細かな点について変更の必要性が説明され、次回の常任世話人会で新たに提示される旨の報告がなされた。また、林議長より、助成金の増額が報告され、平成 22 年度予算案が承認された。

次に、各部会より平成 22 年度活動報告がなされた。放射線部会木村代表より、7 支部統一検討委員会、4 組織による精度向上のための合同委員会、第 33 回消化管造管技術研修会について活動報告がなされた。次に超音波部会假屋事務局長より、総会セミナー、超音波スクリーニング実技講習会 2010 の中止、日光セミナー・長野セミナーの参加者数の報告、今後の予定の案内がなされた。最後に保健衛生部会小川代表より、第 70 回地方会活動報告と、今後の保健衛生部会の課題が述べられた。

3. 第 71 回地方会(平成 23 年度)の開催準備報告

第 70 回地方会山岸忠好大会長より挨拶の後、第 71 回地方会大会長、赤松泰次先生より、第 71 回地方会の開催準備報告と挨拶があった。

開催日：平成 23 年 9 月 10 日(土)

会 場：JA 長野県ビル

議事録署名人 大波 忠
議事録署名人 宮田 和則

4.第72回地方会(平成24年度)の開催について

第72回地方会大会長、中島美智子先生より挨拶があった。

5.企画調整委員会活動強化に関する提案

林議長より、関東甲信越地方会のこれまでの状況について総括が述べられ、企画調整委員会・編集委員会等の委員会活動の強化、開催数を増やすことが提案された。次に石川勉企画調整委員長より、新制度への移行に対応するため、会員一人ひとりの意識改革への呼びかけの後、企画調整委員会の拡充が提案され、承認された。

6.役員・委員会の任期について

林議長より、常任世話人・世話人の任期について明確な定義がない為、現在の世話人・常任世話人については、今期を含め継続して職務を努め、全世話人・常任世話人を、今年度を最初として任期2年とする提案がなされ、審議の末、承認された。

次に、増田英明監事より、下記のような提案がなされた。

- ・ 常任世話人・世話人の新任・再任について規定の作成
- ・ 議事録の作成・保管の徹底、機関紙消化器検診ニュースレター紙上で公開
- ・ 企画調整委員会にワーキンググループを置き、運営の基盤づくりを進める

7.その他

林議長より、世話人・常任世話人の報告がなされた。

(1)世話人から常任世話人

入口陽介先生

(2)保健衛生部会、新代表世話人・企画調整委員

小川敬子氏

(3)新世話人

浦島有希氏、鈴木有希子氏

(4)保健衛生部会、世話人・企画調整委員退任

伊藤寿間子氏

(5)保健衛生部会、世話人退任

荒木啓子氏

また、放射線部会木村俊雄代表より早期胃癌検診協会、吉田論史先生を新常任世話人へ推薦する提案がなされ、承認された。

以上をもって、予定の議事を終了し、平成22年度日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会常任世話人・世話人会を閉会した。

平成22年9月4日

平成22年度日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会常任世話人・世話人会

議長 林 金 學 印

議事録署名人 大波 忠 印

議事録署名人 宮田 和則 印

平成22年度 日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会学術集会総会 議事録

- 日 時：平成22年9月4日（土）午後13時00分～13時20分
 場 所：京葉銀行文化プラザ 音楽ホール3階
 JR千葉駅前（千葉市中央区富士見1-3-2 TEL：043-202-0800）
 議 題：1.平成21年度決算報告及び活動報告
 2.平成22年度予算案及び事業計画案
 3.第71回地方会(平成23年度)の開催準備報告
 4.第72回地方会(平成24年度)の開催について
 5.企画調整委員会活動強化に関する提案
 6.役員・委員会の任期について
 7.その他

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会林學代表世話人が議長となり、挨拶の後、開会が宣された。

1. 平成21年度決算報告及び活動報告
林議長より、平成21年度決算報告について報告がなされ、承認された。
2. 平成22年度予算案及び事業計画案
林議長より、平成22年度予算案について報告がなされ、承認された。
3. 第71回地方会(平成23年度)の開催準備報告
林議長より、第71回地方会の開催報告がなされた。
開催日：平成23年9月10日（土）
会場：JA長野県ビル
4. 第72回地方会(平成24年度)の開催について
林議長より、第72回地方会の報告がなされた。
第72回地方会大会長：中島美智子（埼玉医科大学）
5. 企画調整委員会活動強化に関する提案
林議長より、企画調整委員会活動強化に関する提案がなされた。
6. 役員・委員会の任期について
林議長より、世話人・常任世話人会での報告がなされた。
7. その他
林議長より、機関紙消化器検診ニュースレターについて今後も継続して発行していくことが提案された。
以上をもって、予定の議事を終了し、平成22年度日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会総会を閉会した。

平成22年9月4日

平成22年度日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会総会

議 長 林 學 ①

議事録署名人 大波 内 忠 ①

議事録署名人 宮田 和則 ①

ザ・ベストイメージングコンテスト 結果報告

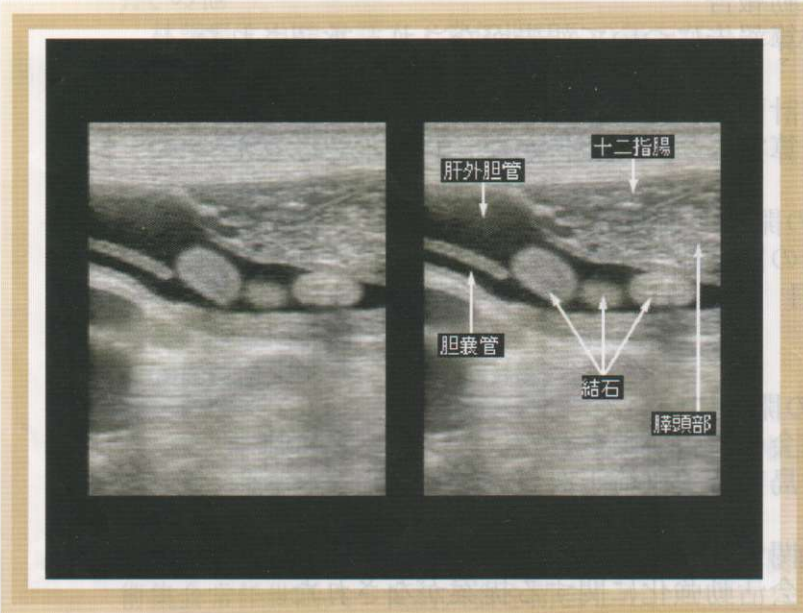
平成22年9月4日、第70回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会の超音波部会学術集会において第3回ザ・ベストイメージングコンテストが開催されました。今回は24点の応募作品がありました。この中から学術集会参加者の投票により、下記の通り、最優秀賞1点と特別賞2点が決定しました。今回特別賞は投票数に差がなく、いずれも優れた画像であるということで2点としました。応募して頂きました皆様および当日審査に参加して頂きました皆様に御礼申し上げます。

回を重ねるごとに作品の出来ばえは良くなり、応募された症例は貴重なものも多数みられます。そこで今回は、広く会員の皆様にも供覧していただきたいと考え、ニュースレター紙面上で全症例を紹介させていただくこととしました。

今後も超音波部会学術集会定例行事として開催したいと思っておりますので、多くの皆様からの応募・審査へのご協力よろしくお願致します。

横浜総合健診センター 中村 稔
 早期胃癌検診協会 山本 美穂

最優秀賞



記録者:岩下 和広
 所属:飯田市立病院
 装置:東芝 Aplio XV
 周波数:8.0MHz
 症例:肝外胆管結石

記録者コメント

黄疸精査の為US施行。肝外胆管結石を複数認めため、リニアプローブに変更して観察した。その際、周波数やダイナミックレンジ、フォーカス等も変更し、結石と背側のわずかな音響陰影、周囲の位置関係がわかるように撮影をした。

特別賞



記録者:滝内 直二
 所属:東京臨海病院
 装置:東芝 Aplio 周波数:7.5MHz
 症例:右腎細胞癌



記録者:大森 陽介
 所属:結核予防会 第一健康相談所総合健診センター
 装置:東芝 Xario 周波数:5.0MHz
 症例:総胆管癌

ザ・ベストイメージングコンテスト

応募作品



肝臓破裂、横隔膜裂溝



門脈-肝静脈シャント



大腸憩室炎穿孔



直腸癌の膀胱浸潤



右副腎腫瘍



卵巣腫瘍茎捻転



脂肪肝



胆嚢癌



胆嚢炎、胆嚢周囲膿瘍



大腸憩室炎



海綿腎



総胆管結石



肝破裂、肝腫瘍



脾腫、門脈圧亢進症



腸閉塞



肝嚢胞腺癌



浸潤性膵管癌



胆嚢結石、壁の肥厚



胆嚢腺筋腫症



胆嚢がん



肝膿瘍

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 第43回放射線部会学術集会

高齢化社会の胃がん検診

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第43回放射線部会学術集会が、平成23年2月19日(土)、長野県佐久勤労者福祉センター(長野県佐久市)で開かれます。

消化管X線検査に携わる放射線技師の全国的結集と研修を呼びかける『軽井沢アピール』が採択されたのは1985年、第18回総会の時でした。その後2001年には胃がん検診専門技師制度が発足、2002年の新標準撮影法で技師の読影力高度化への要求が明らかになりました。そして今、読影力向上、検査力の高度化を期した専門技師制度改革が目前に迫っています。検診対象者の高齢化が明らかなか中、バリウム検査は生き残れるのかという声すら聞かれます。患者、受診者の高齢化、医師、技師、メーカーなど複雑な相互関係の下、激動の渦に揉まれているのが今の胃X線検査です。

第43回総会では、受診者の高齢化という避けられない現状への対応に苦慮する技師が、認定技師10周年、認定技師制度の根本的改革という歴史的な流れの中で、どのようにして新しい時代に適った技師になっていくのか、考え直す絶好の機会であることに疑いの余地はありません。

長野県佐久市で開かれる第43回学術集会は、放射線技師による胃X線検査・消化器がん検診を出発点から振り返る絶好の機会になるものと期待しています。

全ての放射線技師の皆さん、平成23年の第43回学術集会にご参加下さい。従前通り出席、演題発表、共同演題等の別により、4~6点の専門技師認定ポイントが取得できます。

記

開催日時：平成23年2月19日土曜日 9:30~18:00 (開場は9:00)

開催場所：長野県佐久勤労者福祉センター
(上信越道佐久インター7分、新幹線佐久平駅3分)

大会長：佐藤一雄、実行委員長：堤 武志

参加費：3000円(懇親会費:5000円)

プログラム：

特別講演:宮下美生先生 (財)長野県健康づくり事業団常任理事

教育講演:宮川国久先生 JA長野厚生連 長野PET画像センター

シンポジウム:『高齢化社会における胃がん検診のあり方』

認定技師新認定試験及び認定について

一般演題

ランチョンセミナー

第33回 消化管造影技術研修会のご案内

主催 : 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会

後援 : 日本消化器画像診断情報研究会

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会では毎年、消化管造影検査に携わる放射線技師を主な対象に消化管造影技術研修会を開催しております。この研修会は検査中に異常所見を素早く判断できる高度な知識、関心部位の適切な表現を可能とする造影技術と読影法の習得を目的とした合宿制で行っております。

下記プログラムの講師陣による講義、持参フィルム検討会と技術指導は、毎回多くの受講生から好評を得ております。

この機会に是非受講いただけますようご案内申し上げます。

記

[開催期日] 平成23年1月28日(金)～30日(日) 2泊3日

[研修会場] 日本青年館ホテル 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7-1 TEL03-3401-0101

[受講資格] 消化管造影検査に係わりのある方ならどなたでも受講できます。

[受講費用] 日本消化器がん検診学会正会員又は支部会員:60,000円 非会員:70,000円

[前日宿泊] 研修日の前日(1月27日)に宿泊希望の方は、前泊費用の8,000円を加算して下さい。

[募集人数] 約80名

[申込締切] 平成22年12月25日(土)

[申込方法]

1.メールにて受講予約をして下さい。予約受付後に受講申込書を郵送します。

(1)宛先 s.kenshuukai33@gmail.com

(2)件名 「第33回消化管造影技術研修会受講申込み」

(3)記入事項 ①氏名 ②施設名 ③電話番号 ④受講申込書送付宛先 を明記して下さい。

2.受講受付の返信メールを確認後、受講費用(および前泊費)を下記口座に振込んで下さい。

振込み先 : みずほ銀行 新宿西口支店(店番号353)

口座番号 : 普通口座 4361911

口座名 : 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会放射線部会

3.受講申込書に必要事項を記入し、振込証明のコピーを添えて下記事務局へ郵送して下さい。

事務局 : 神奈川県労働衛生福祉協会 放射線科 消化管造影技術研修会事務局

〒242-0017 神奈川県大和市大和東3-10-18 FAX 046(262)9511

4.受講申込書受領後、受講案内を郵送します。

[問合せ先] E-mail s.kenshuukai33@gmail.com または上記事務局へFAXでお願いします。

*検査技師費士更新5点が付与されます。 *会場内での録音・録画は禁止致します。
*ランチ>セミナーで軽食(550食限定)の用意をしています。(受付時整理券をお渡します)
*書籍の展示販売を行います。

第33回 消化管造影技術研修会のご案内 (プログラム)

プログラム			
	28日(金) 9:00 ~	29日(土) 8:30 ~	30日(日) 8:30 ~
9:00	オリエンテーション	大腸X線検査法 (腰塚慎二)	実験 -硫酸バリウム造影剤の特性- (堀井薬品工業株式会社)
10:00	胃がん検診専門技師認定について (木村俊雄)	胃癌組織発生からみた胃癌の診断 -胃癌の三角- (中村恭一 先生)	デジタル画像の臨床 & 造影剤に 求めること (杉野吉則 先生)
11:00	胃X線検査の基礎 I -基準撮影法について- (黒木幹夫)		食道X線診断学 (八巻悟郎 先生)
12:00	胃X線検査の基礎 II -検診の実際- (見本真一)	胃癌のX線診断 I -症例に学ぶ- (入口陽介 先生)	講評 持参フィルム総合評価
13:00	昼 食	昼 食	昼 食
14:00	消化管検査の リスクマネジメント (鶴田恭央、宮田和則、佐藤一雄)	胃癌のX線診断 II -肉眼・組織所見との対比- (馬場保昌 先生)	読影試験 & 解説 (本田今朝男・佐藤清二)
15:00	前壁撮影のテクニック (木村俊雄)	胃X線画像の読み方と考え方 (吉田論史 先生)	放射線技師の社会的役割 (石渡良徳)
16:00	病変描出手技 -追加撮影のポイント- (本田今朝男)		総 括 (地方会代表世話人 林學 先生)
17:00	胃X線検査のピットホール -横胃の撮影法- (工藤泰)	症例検討会 (吉田論史 先生)	閉講式
18:00	デジタル装置の基礎知識 (日立メディコ)		
19:00	夕 食	交流会	
20:30	持参フィルム検討会 (間接・直接・DR 別)		
	個別検討あり (希望者)		

※講師の都合により変更になる場合があります。

超音波スクリーニング研修講演会2010横浜

日 時:平成22年12月18日(土)
 午前9時55分～午後5時50分
 *開場・受付開始:9時30分から

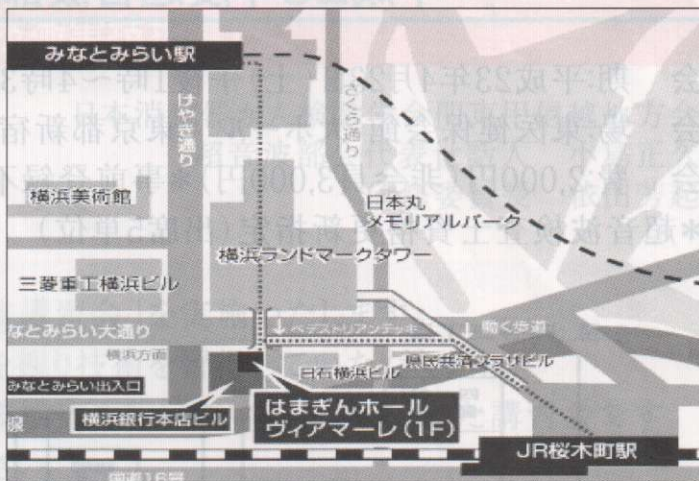
会 場:はまぎんホール(ヴィアマーレ)
 横浜市西区みなとみらい3-1-1
 Tel 045-225-2173

参加費:4,000円(資料代含む) 事前登録不要

主 催:日本消化器がん検診学会／
 日本総合健診医学会
 超音波スクリーニング研修講演会運営委員会
 会長:竹原 靖明(横浜総合健診センター)

後 援:神奈川県臨床検査技師会／
 神奈川県放射線技師会

問合せ:関東中央病院 画像診断センター(担当:山田)
 E-mail kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com



*JR・横浜市営地下鉄線 桜木町駅下車 動く歩道利用5分
 *みなとみらい線 みなとみらい駅下車
 「クイーンズスクエア連絡口」「けやき通り口」より 徒歩7分

プログラム テーマ:『USスクリーニングの課題』

09:55	開会の辞 竹原 靖明
10:00～11:00	『胆道』 講師:関口 隆三(栃木県立がんセンター) 司会:小島 正久(公立学校共済 関東中央病院)
11:00～12:00	『乳腺』 講師:角田 博子(聖路加国際病院) 司会:高田 悦雄(獨協医科大学病院)
12:30～13:15	ランチョンセミナー 『甲状腺』 講師:福成 信博(昭和大学横浜市北部病院) 司会:西川 かおり(杏林大学医学部附属病院)
13:30～14:30	『腎・膀胱』 講師:桑島 章(PL東京健康管理センター) 司会:小野 良樹(東京都予防医学協会)
14:30～15:30	『肝臓』 講師:平井 都始子(奈良県立医科大学附属病院) 司会:竹原 靖明(横浜総合健診センター)
15:45～16:45	『消化管』 講師:森 秀明(杏林大学医学部附属病院) 司会:依田 芳起(山梨県厚生連健康管理センター)
16:45～17:45	『膵臓』 講師:岡庭 信司(飯田市立病院) 司会:増田 英明(三ツ沢ハイタウンクリニック)
17:45	閉会の辞 桑島 章

*超音波検査士更新5点が付与されます。 *会場内での録画・録音は禁止致します。
 *ランチョンセミナーで軽食(550食限定)の用意をしています。(受付時整理券をお渡しします)
 *書籍の展示販売を行います。

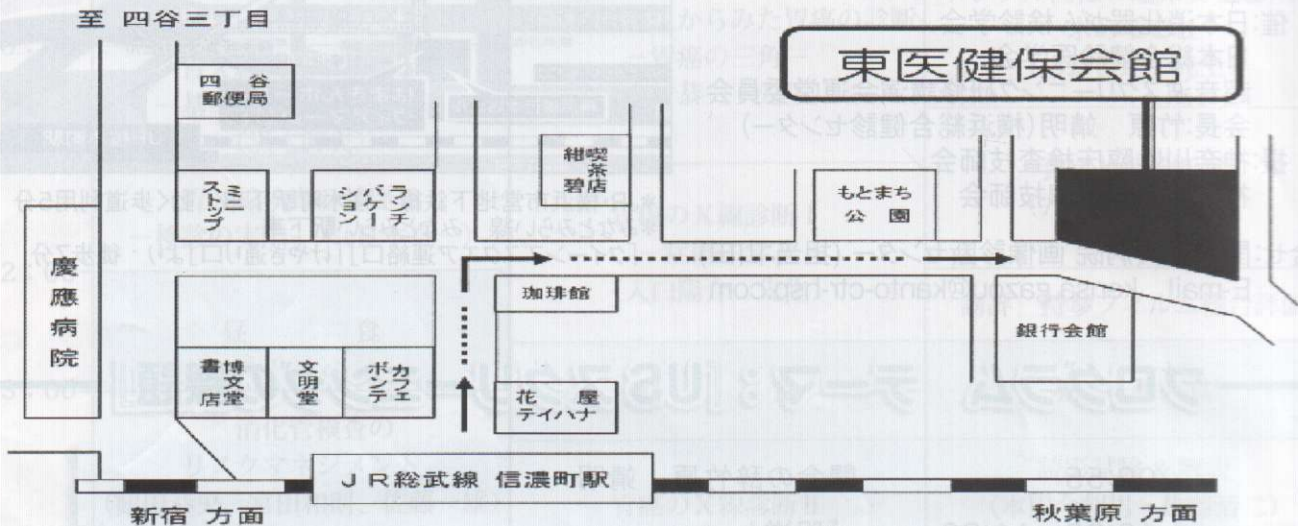
日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 平成23年度超音波部会セミナーのご案内

会 期:平成23年4月23日(土)午後1時~4時30分(受付開始12時30分)

会 場:東医健保会館 大ホール 東京都新宿区南元町4番地

会 費:2,000円(非会員3,000円)*事前登録不要

*超音波検査士資格更新指定(出席5単位)



*徒歩順路(JR総武線 信濃町駅 徒歩5分)

信濃町駅の改札を出て、券売機に沿って右方向へ出ると、右手に「花屋テイハナ」がある。その道の一つ目の角を右へ曲がり、「もとまち公園」を過ぎると、左手に【東医健保会館】の看板が見える。

プログラム	テーマ『超音波技師に必要な臨床の知識』
13:00~13:05	開会の辞(代表世話人)
13:05~13:55	教育講演1
13:55~14:45	教育講演2
14:45~15:00	休憩
15:00~15:10	第13回超音波部会総会
15:10~16:30	症例検討会(スクリーニング発見 3症例)
16:30	閉会の辞(研修委員長)

プログラムの詳細が決まり次第ホームページに掲載致します

会員の皆様のご参加をお待ちいたします

問合せ先:関東中央病院画像診断科(山田) E-mail: kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com

ホームページURL: <http://www.mskanus.org/>

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会 『初心者のための腹部超音波検査実技講習会 (第16回)』 (グループ制技術実技指導)

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会
超音波部会代表世話人 小島正久
研修委員長 依田芳起

下記の通り「初心者のための腹部超音波実技講習会」を実施いたします。
当日は小人数グループ制で、実際にプローブを握り技術を習得していただきます。
超音波検査をやりはじめの方、これから超音波検査を行いたい方を対象とした講習会です。
受講ご希望の方は、下記によりお申し込み下さい。

記

期 日 平成23年2月19日(土曜日) 午前9:00～午後4:30(受付8:30から)

会 場 公立学校共済組合 関東中央病院 2階講堂

東京都世田谷区上用賀6-25-1

*小田急線成城学園駅(南口)より渋谷行きバス関東中央病院前下車

*田園都市線(新玉川線)用賀駅よりバス①番乗り場 関東中央病院下車

*用賀駅よりタクシーで一区间

募集人員 20名(1グループ5名以内)定員になり次第締め切ります。

参加費 部会員:1万5千円 非会員:2万円(いずれも昼食・テキスト代含む)

申込期間 平成23年1月3日～1月30日(期日厳守でお願いします)

申込手続 必要事項(連絡先住所・氏名・性別・年齢・電話(FAX)・勤務先・職種・会員No.)
を記入し、郵送または申し込み添付メールで下記までお申し込み下さい。

受講可否確認書は2月5日頃発送予定です。

講習内容 テキストにしたがいグループごとに肝、胆、膵、脾、腎の解剖や描出の基本手技
およびポイントを、実際にプローブをにぎり習得していただきます。

主 催 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会

申込先 〒106-0061

東京都千代田区三崎町1-3-12

結核予防会第一健康相談所総合健診センター

臨床検査科 假屋博一 宛

E-mail kariya@jatahq.org

(電話での問い合わせはご遠慮お願いします)

「初心者のための腹部超音波検査実技講習会」申込書

平成 23 年 1 月 日

ふりがな	4月23日(土)午後1時～4時30分(受付開始12時30分)		
受講者氏名	〒 東京都新宿区南元町4番地		男 ・ 女
	会員No	非会員	
生年月日	昭和・平成	年	月 日生 歳
連絡先	自宅 ・ 勤務先 (必ず○印を付けてください)		
自宅住所	〒 -		
電話	〒 -		
勤務先名称	〒 -		
住所	〒 -		
電話	〒 -		
職種	臨床検査技師	診療放射線技師	看護師 医師
E-mail	@		

※質問及び要望等ありましたらお書きください。

プログラムの詳細が決まり次第ホームページに掲載します

E-mail kensha@kanto-ctr-hsp.com

会員の皆様のご参加をお待ちいたします(お申し込みは郵送でも可)

問合せ先: 関東中央病院画像診断科(山田) E-mail kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com

ホームページURL: <http://www.mskanus.org/>

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 第13回超音波部会研修会(日光セミナー)のご案内

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会
超音波部会代表世話人 小島 正久
研修委員長 依田 芳起

下記の通り、第13回超音波部会研修会(日光セミナー)を開催いたします。

当研修会は超音波検診担当者の教育、および指導技師の育成を目的に、超音波検査の原理、超音波画像の意義、超音波検査の対象となる疾患の病理・病態・超音波所見などを研修する一泊二日のセミナーです。受講資格に制限を設けませんが内容は中・上級者向けになります。詳細プログラムは出来次第、超音波部会ホームページに掲載いたしますので会員の皆様のご参加をお待ちいたします。

この研修会は、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。

記

期 日：平成23年6月25日(土)・26日(日) 一泊二日

会 場：日光東照宮「晃陽苑」 栃木県日光市瀬尾1640-14

*3~4人の相部屋になります

参加費：2万円程度予定

募集数：40名(応募多数の場合は抽選になります)

申し込み、手続き等は平成23年5月初旬を予定しています

主 催：日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会

*超音波部会ホームページ <http://www.mskanus.org/>



日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会 超音波部会

第6回 新潟セミナー 開催のご案内

日時：平成23年2月26日(土) 10:00～17:15 (開場 9:30)

会場：朱鷺メッセ 3F 中会議室 301.302

〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号 TEL 025-246-8400

参加費：

ハンズオン：日本消化器がん検診学会会員500円

新潟県臨床検査技師会会員1,500円、非会員2,000円

講演：日本消化器がん検診学会会員1,000円、

新潟県臨床検査技師会会員2,000円、非会員2,500円

*事前申し込み必要

*超音波検査士資格更新指定(出席5単位)

新潟県臨床検査技師会生涯教育認定(専門教科10点)

*機器展示(13:30～17:00):午後からの機器展示のみは、無料です。

(参加申し込み不要)

プログラム

10:00～10:05	開会の辞	会場 301	10:10～12:00	超音波基礎講義	会場 302
10:10～12:00	ハンズオン	会場 301			
	初心者コース				
	肝・胆道系コース				
	乳腺コース		12:30～13:30	ランチオンセミナー	会場 302
13:40～14:40	講演1 「乳腺」				
				講師:佐野 宗明(新潟プレスト検診センター)	
14:40～15:40	講演2 「USによる肝疾患の見方」				
				講師:関口 隆三(栃木県立がんセンター)	
15:50～16:50	講演3 「USによる膵疾患の見方」				
				講師:岡庭 信司(飯田市立病院)	
16:55～	総括発言 竹原 靖明(横浜総合健診センター)				
	閉会の辞				※ 敬称省略

主催：日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会 後援:新潟県臨床検査技師会
 問合せ先：新潟セミナー実行委員会事務局

〒950-0917 新潟市中央区天神1-1 プラカ3 5F プラカ健康増進センター 牧田

FAX:(025)245-4104 TEL:(025)247-4101

E-mail:mi_ogasawara@niwell.or.jp

〈87 号掲示板〉

第50回日本消化器がん検診学会総会のご案内

会長:森山 光彦(日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野)
 会期:平成23年5月20日(金)~22日(日)
 会場:東京プリンスホテル(東京都港区芝公園3-3-1 TEL:03-3432-1111)
 本記念大会では初日20日(金)の午後、日本消化器がん検診学会創立50周年の
 記念式典・祝賀会が開催される予定です。多数のご参加をお待ちしております

第35回部会研究会総会のご案内

第50回日本消化器がん検診学会総会では、下記のとおり部会研究会総会を開催いたします。
 なお、本部会研究会総会は胃がん検診専門技師の認定および更新に必須な参加対象学会
 となっております。希望なされる放射線技師は奮ってご参加ください。

日 時 : 平成23年5月22日(日) 13:00~17:30
 会 場 : 東京プリンスホテル「第1会場:プロビデンスホール」
 世 話 人 : 森山 光彦 (第50回日本消化器がん検診学会総会会長)
 担 当 理 事 : 渋谷 大助 (宮城県対がん協会がん検診センター)
 実行委員長 : 木村 俊雄 (早期胃癌検診協会)

プログラム (案)

テーマ: 技師による「画像診断における読影の補助」に向けて
 13:00 開会挨拶 第50回日本消化器がん検診学会総会会長 森山 光彦
 13:05 部会委員会報告
 部会担当理事: 渋谷 大助 (宮城県対がん協会がん検診センター)
 13:15 基調講演 技師による「画像診断における読影の補助」に期待するもの
 講師: 馬場 保昌 (早期胃癌検診協会)
 14:00 シンポジウム 「技師による読影の補助」に向けての教育体制の構築
 15:30 教育講演1 読影講座 「読影の補助」に向けた読影の基礎講座
 講師: 吉田 諭史 (早期胃癌検診協会中央診療所)
 16:30 教育講演2 読影講座 動画症例から学ぶ読影と撮影技術
 講師: 杉野 吉則 (慶應義塾大学)
 17:30 閉会挨拶 第49回日本消化器がん検診学会大会会長 乾 和郎

第50回日本消化器がん検診学会総会 事務局
 事務局長 小川 真広
 日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野 内
 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1
 TEL: 03-3972-8111 (内線2424) FAX: 03-3956-8496
 運営事務局
 (株)勁草書房 コミュニケーション事業部 内
 担当 小森 陽介
 〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1
 TEL: 03-3814-7112 FAX: 03-3814-6904
 E-mail: JSGCS50@keiso-comm.com

第36回部会研究会総会のご案内

プログラム等、詳細が決まり次第ホームページ(<http://www.jsgcs.or.jp>)に掲載いたしますので、皆さ
 ま奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

日 時 : 平成23年10月29日(土)
 会 場 : 愛知県産業労働センター(大ホール)
 世 話 人 : 第49回日本消化器がん検診学会大会
 会長 乾 和郎(藤田保険衛生大学坂分種報徳会病院 消化器内科)
 担 当 理 事 : 渋谷 大助(宮城県対がん協会がん検診センター)
 実行委員長 : 川地 俊明(大垣市民病院)

編集後記

今年の夏は大変な猛暑でした。「暑い」ではなく「熱い」と言いたいほどでした。私は出勤時に最寄り駅まで15分ほど歩くのですが、駅に着く頃には汗だくになっていました。朝の出勤時間から30℃近くになっていたのしかたないですね。

気象庁の発表では、2010年の夏の日本の平均気温について、統計を開始した1898年以降、113年間で最も高い記録だったと発表していました。これまで第1位だった1994年の記録を塗り替え、2010年が統計史上最高でした。

平均気温の平年差(6~8月)が+1.64℃で、これまで第1位だった1994年の+1.36℃を0.28℃上回りました。月別に見てみると、6月が+1.24℃、7月が+1.42℃、8月が+2.25℃と、中でも8月が最も暑かったです。高温を記録した要因は、冷涼なオホーツク海高気圧や寒気の影響が少なかったこと、エルニーニョ現象の影響で北半球中緯度の対流圏全体で気温が上昇したことなど、複数の条件が重なったことが考えられるそう

です。記録的暑さは9月も続き、いつになったら秋が来るのだろうと思っていました。しかし暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので秋分の日を境に急に秋になりました。最近では秋バテと言うのがあられるようで、真夏の暑いときは冷房の効いた場所にいるので食欲など落ちないようですが、涼しくなってきた秋に夏の疲れが出るようです。

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋と何をするにも快適です。好きなことをたくさんして夏の疲れを解消したいと思います。

このニューズレターが発行される頃は晩秋。もう師走が近づいて来ていますね。

財団法人 東京都予防医学協会
神宮字 広明

編集委員会

編集委員長(代理) 増田 英明

編集委員 米倉 福男 神宮字広明 竹林 章子 青木 敏郎 山本 美穂

今井 仁彦 笹島 雅彦 渡辺 靖 岡田 義和

(非売品)

食道から大腸まで

適確診断のために……

薬価基準収載

処方せん医薬品 注意-医師等の処方せんにより使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスター[®] A240散

バリオゲン[®] SHD

■ 注腸用X線造影剤

エネマスター[®] 注腸散

■ X線CT用経口消化管造影剤

バリオゲン[®] CT

■ 消化管X線造影剤

バリオゲン[®] HD

バリオゲン[®] ザル145

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

バリオゲン[®]

バリオゲン[®] ザル

■ X線診断二重造影用発泡剤

バリオゲン[®] デラックス ウムブラMD

バリエース[®] 発泡顆粒

■ 胃内有泡性粘液除去剤

バリオゲン[®] 消泡内用液 2%

(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

ファースル[®] 錠 2.5mg

(ピコスルファートナトリウム錠)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

FSK 伏見製薬株式会社

● 資料請求先 / 学術室

〒763-8605 香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801 名古屋営業所 / TEL 052-732-8555

大阪営業所 / TEL 06-6221-5101 中四国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

やさしさと温もりをもって届きたい。

